

## 【単語・文節】

1. 次の文の文節（A）と単語（B）の数をそれぞれ算用数字で書け。

①銀山駅は、日に三百万人が利用する広大な駅だ。

②昔、通っていた校舎は廃墟と化しました。

③このそば屋は察しのよさを激賞している。

## 【文節の関係】

1. 傍線部の文節を修飾している全ての修飾語を記号で答えよ。

ア イ ウ エ オ

よく 冷えた 透明の 飲み物を 一気に 飲み干す。

2. 主語になる文節を書き抜け。

縁側でお茶を飲んでいる祖父に見守られて、庭の大きな木に夢中で登ったことがある。

3. 「うどんを持ってきた」の「持って」と「きた」の関係と同じものを次から記号で選べ。

ア 彼はとてもやさしい 人だ。 イ この犬は小さくて かわいい。  
ウ 花壇できれいな花が 咲く。 エ 一人静かに本を読んで いる。

## 【用言】

1. 次の文から動詞を探して、（ ）で示した活用の種類に分類されるものを見つけよ。さらに、解答するときは終止形にして書け。

①夢を見ることが悪いとは言わないが、まずは小さな目標を見つけたらいいと思うよ。

（下一段活用）

②年末は、実家から母が来て、大根や豆を煮て、お節料理をごちそうしてくれます。

（上一段活用）

2. 傍線部の動詞の活用の種類と活用形を「～行」も含めて答えよ。

祖父は徒然草の一節を思い出したのだ。

3. 傍線部の単語の活用形を漢字で答えよ。

①走つて ②楽しかろう ③幸せになる ④正確でない ⑤もしよろしければ ⑥している

4. 傍線部と同じ意味・用法のものを記号で選べ。

①問題を解いてみる。

ア 遠くにいるので会えない。 イ これは安いので買った。

ウ 緑の葉っぱがくつついた。 エ 強いてやることはあります。

5. 次の文は文法的に間違っている。その理由を正しく説明しているものを記号で選べ。

君の作文はおおよそ誤字がなく正しい書けているよ。

ア 形容詞「正しい」に動詞「書ける」を接続させるというように、用言でも別の品詞を

続けさせるには、必ず読点を打つか、助詞「て」を入れないといけないから。

ウ 呼応の副詞「おおよそ」は、必ず「だろう」「でしょう」などの特定の言葉を下に入れないといけないから。

エ 主語に「作文」などの無生物を置くときは、必ず用言には「せる」といった他動詞を用いないといけないから。

### 【連体詞】

1. 傍線部と同じ品詞を記号で選べ。

それはおかしな話だ。

ア 彼女はゆかいな人だ。

イ 弟はすなおな性格だ。

ウ 桜はきれいな花だ。

エ いろんな花が咲いた。

### 【接続詞】

1. 傍線部の接続詞の働きを記号で選べ。

今日は暑かった。けれども、冷房をつけなかつた。

ア 順接 イ 逆接 ウ 並立・累加

エ 対比・選択

オ 説明

カ 転換

### 【品詞分類】

1. 次の一文の品詞の構成として適當なものを記号で選べ。  
明るい未来があります。

ア 名詞+名詞+助動詞+名詞+助動詞 イ 名詞+名詞+助詞+動詞+助詞

ウ 形容詞+名詞+助動詞+名詞+動詞 エ 形容詞+名詞+助詞+動詞+助動詞

2. 次の文章の①～⑩の言葉の品詞名を記号から選べ。

六月に①体育祭がある。しかし、梅雨の時期だ。②だから、③ちょっと雨が心配だ。  
だが、私たちは④その体育祭に向けて練習して⑤いる。特に大縄跳びは、⑥大変な種目だ。  
⑦割り当ての昼休みには、校庭に⑧早く出てみんなで心を⑨合わせて練習している。百回  
以上跳んで「⑩あつ」と言わせたい。

ア 名詞 イ 動詞 ウ 形容詞 エ 形容動詞 オ 連体詞

カ 副詞 キ 接続詞 ク 感動詞

3. 次の文章中にある傍線①～⑥の品詞の名前を漢字で書け。

①秀麗な富士山も近づくと荒々しい。  
②近づいてみると、ひび割れてすすぐ壁面のビルだ。  
③雷がたえずゴロゴロ鳴っている。  
④日本人は読みが深いというか、察しがよい。  
⑤その人は四国の出身だ。  
⑥店の主人はこう考えたのだろう。「もりそばをくれ」という意味だと。

### 【敬語】

1. 次の傍線部の敬語の種類を選択肢から記号で選べ。

①田中様のお手紙を拝見しました。 ②暑いのでお茶を飲もう。

③先生がいらっしゃった。

④壇上でお話になつてするのが田中さんです。

⑤荷物をお持ちします。

ア 丁寧語 イ 謙譲語 ウ 尊敬語